



When you need **to be sure**

食品関連サービス

[sgs.com](https://www.sgs.com)

SGS

When you need **to be sure**

SGS は、**検査・検証・試験・認証**におけるリーディングカンパニーです。

SGS ジャパンは、品質・安全性・持続可能性などに関する様々な規格や規制に対して革新的なサービスとソリューションを提供しています。

消費者は、農産物や食品を生産・製造するすべてのプロセスにおける安全性および品質に対する安心を求めています。

農作物の生産管理、土壌の試験、国内外における各種食品分析・検査など、農産業およびその流通過程のあらゆる面でのサービスや、食品製造工程の安全性に対する認証サービスを提供することにより、フードチェーンのリスク低減を支援します。

目次

認証審査サービス	1
二者監査サービス	2
トレーニングサービス.....	2
食品の試験分析サービス.....	3
試験・分析サービス.....	4
お問合せ先	5

認証審査サービス

SGS ジャパンは、経験豊富な審査員による世界最高水準の認証サービスをお届けします。

サービス一覧



FSSC22000

- ・日本国内で最も多く採用されている食品安全マネジメントシステム
- ・ISO22000、ISO/TS22002-X(技術仕様書)、FSSC22000 追加要求事項で構成されている

対象

食品製造、容器包装製造、輸送および保管、など



SQF

- ・食品安全(カテゴリー別)および品質のプログラムがある
- ・品質を取得すると製品認証が可能
- ・アメリカで主流の規格、FSMA に関連する審査を追加で行う事が可能(要ご相談)

対象

フードサプライチェーンに関わる全ての組織



GLOBALG.A.P.

- ・農畜水産物に対する認証
- ・食品安全だけでなく、環境、労働安全、動物福祉にも配慮した規格
- ・欧州では一般的

対象

農産物(生産者もしくは生産者団体)



ISO22000

- ・食品安全マネジメントシステム
- ・ISO ベースのマネジメントシステム(組織全体)と HACCP ベースの食品安全システム内での運用プロセスで PDCA を行っていく

対象

フードサプライチェーンに関わる全ての組織



HACCP

- ・食品衛生の一般原則
- ・食品安全上の危害を特定し管理していくシステム
- ・コーデックス HACCP に準じた SGS-HACCP の認証サービスを提供

対象

食品製造、容器包装製造、など



GMP

- ・適正製造規範
- ・原材料の入荷から製造、流通の過程で適正な管理が行われ、不良品が出ない様な規範(ルール)に基づいて業務が行われているかをチェック

対象

食品製造、容器包装製造など



有機 JAS

- ・農薬や化学肥料に頼らない農産物やこれらが原料として作られた加工食品を認定する制度
- ・アメリカ、カナダ、EU には有機同等性を利用した輸出が可能

対象

生産工程管理者、小分け業者、輸入業者、外国格付表示業者



GFCO

- ・グルテンフリーの認証
- ・北米において最も知名度が高い
- ・最終製品のグルテン含有率は 10ppm 以下が必須となる

対象

製造者、ブランドオーナー(製造委託者)

二者監査サービス

専門性を持った SGS の監査員が、お客様のニーズと仕様に基づいて監査を行います。

食品安全監査

SGS の監査サービスは、教育訓練と力量評価をもとに登録された監査員が提供しています。

<メリット>

- ・ サプライヤーマネジメントの一環として活用できます。
- ・ 消費者、ステークホルダーからの信頼が得られます。
- ・ 監査対応の費用と時間を節約できます。海外の場合、渡航費用の節約などにつながります。
- ・ 海外サプライヤーの場合、SGS の海外拠点網を駆使した現地語対応ができます。
- ・ FSSC 認証などを SGS 以外の認証機関で審査を受けているが、SGS 視点での監査を受けることにより、多面的に食品安全の取組みを推進することができます。
- ・ 監査同席をいただくことで、監査員知見が得られ、貴社内部監査に役立てられます。
- ・ 近年の人口減少の深刻化に係わる人材不足の解消に繋がります。

<実施例>

- ・ 食品工場の食品安全監査：SGS のチェックリストを利用します。貴社チェックリストの場合、ご相談の上、検討します。
- ・ 海外の工場監査：海外のお取引工場を、力量を持つ SGS 現地スタッフが訪問し監査し、レポートを提出いたします。レポートは英語でご案内します。

トレーニングサービス

公開講座は、スクール形式とオンラインライブ形式があります。オンデマンド研修は、お手元の端末で録画された講座をご視聴いただく研修です。その他、講師派遣研修も提供しています。

No	公開講座
1	SGS-HACCP トレーニングコース (HACCP 入門編動画付き) -2 日間
2	SQF システム実施トレーニングコース -2 日間
3	SQF 品質コード実施トレーニングコース -1 日間
4	SGS-HACCP/SQF システム・品質コード実施トレーニングコース -5 日間 (No.1、2、3 のセットコース)
5	SGS-HACCP/SQF システム実施トレーニングコース -4 日間 (No.1、2 のセットコース)
6	SQF システム・品質コード実施トレーニングコース -3 日間 (No.2、3 のセットコース)
7	SQF システム内部監査員養成研修 -2 日間
8	ISO22000/FSSC22000 Ver.6.0 規格解釈研修 -1 日間
9	ISO22000/FSSC22000 Ver.6.0 内部監査員研修 -2 日間
10	ISO22000/FSSC22000 Ver.6.0 内部監査員アドバンス研修 -1 日間
11	予防管理適格者 PCQI 養成コース -3 日間

No	オンデマンド研修
1	ISO22000:2018 規格解釈研修
2	SGS-HACCP トレーニングコース<入門編>
3	HACCP (食品衛生の一般原則) の改訂解説研修
4	SQF Edition 9 差分解説研修
5	SQF サステナビリティ補遺 規格解釈研修
6	ベトナム語 CODEX HACCP 入門コース
7	食品加工業様向け_労働安全衛生法規制セミナー
8	FSSC 22000 Ver.6.0 追加要求事項解説研修

食品の試験分析サービス

SGS はグローバルネットワークを活かした食品の試験分析サービスが可能です。

対象国 以下以外の地域もお問合せください。

 米国	 EU	 中国	 台湾	 シンガポール	 マレーシア
 韓国	 香港	 ベトナム	 タイ	 ASEAN	中東

サービス一覧

食品分析

 <p>残留農薬分析</p> <p>一斉分析： 欧州、米国、アジア諸国向けのパッケージ</p> <p>個別分析： グリホサート、パラコートなど個別検査</p> <p>対象品： 果物（イチゴ、ぶどう、ミカン、メロン）、野菜、油脂、加工食品、お茶、ベビーフード</p>	 <p>栄養成分分析</p> <p>欧州、米国、アジア諸国対応可能</p> <p>成分表示項目： 食物繊維・トランス脂肪酸・糖類</p> <p>機能性成分： アミノ酸類・ミネラル類・ビタミン類</p>
 <p>アレルゲン</p> <p>海外の表示必須項目に合わせた項目の分析</p> <p>小麦・ナッツ・卵・セロリ・マスタード・ココナッツなど</p>	 <p>汚染物質</p> <p>MCPD 脂肪酸エステル類・アクリルアミド・メラミン/シアヌル酸・MOSH/MOAH・PAHs・ダイオキシン・PFAS・フタル酸</p>
 <p>カビ毒</p> <p>海外の規制に合わせた下限値にて、アフラトキシン・オクラトキシン A・パツリンなど</p>	 <p>微生物</p> <p>生菌数・大腸菌群・大腸菌・サルモネラ・黄色ブドウ球菌・腸炎ビブリオ</p> <p>ISO 法、FDA 法対応可能</p>
 <p>重金属</p> <p>海外の規制に合わせた下限値にてヒ素・鉛・カドミウム・水銀。そのほか、30 種類以上の重金属やミネラル</p>	 <p>放射能</p> <p>Cs134・Cs137</p>
 <p>食品添加物</p> <p>加工食品： 甘味料・着色料・防腐剤・抗酸化物質</p> <p>食品添加物： 規格に関する試験</p>	

店舗衛生検査

 <p>店舗衛生検査</p> <p>世界中のチェーンレストランなどの飲食店向けに、衛生検査と食品・ふきとり試験を実施</p>

食品の法令確認

 <p>表示確認</p> <p>食品ラベルが対象国の規制に適合しているか確認</p>	 <p>成分チェック</p> <p>使用原料が対象国の規制に適合しているか確認</p>
 <p>法令調査のプラットフォーム (Digicomply)</p> <p>各国の法令や食品に関わる記事・学術論文が集約された SGS の法令プラットフォーム</p>	 <p>カリフォルニア州プロポジション 65</p> <p>カリフォルニア州法に従い、有害物質の調査を行います。製造業者はカリフォルニア州の消費者に対し、明確かつ適切な警告表示を義務付けられています。</p>

試験・分析サービス

食品接触材ソリューション

食品接触材は市場ごとに規制体系が異なり、それぞれ適合性確認が必要です。

SGS では、試験以外に材料登録・ポジティブリストへの対応、適合証明書や GMP 監査・検証まで包括的なソリューションを提供しています。



アドバイザリー

各国規制のご案内や社内セミナーを実施



食品接触材試験サービス

規格試験の他、市場・用途に応じた試験、及び容器・包装材の強度・性能試験を実施



適合宣言書作成サービス

お手持ちの情報をベースに適合宣言書の作成をサポート



ポジティブリスト適合

ポジティブリスト、SML などへの適合確認をサポート



GMP GAP 分析サービス

製造工程での GMP 適合性確保へ向けた GAP 分析 (オンサイト)

安全性：食品接触容器・包装

食品接触材／製品を日本国内へ輸入する際、厚生労働省が管理する「器具・容器包装の規格試験（食品衛生法 370 号）」に順守した対応が必要となります。同省認定の試験で、予め必須とされる試験をクリアしなければなりません。

また、直近の食品衛生法の改訂においては、ポジティブリスト（合成樹脂）/GMP 要求が加わり、これまでと違ったサプライチェーンの管理が必要となります。

○厚生労働省海外指定検査機関

認定 SGS 拠点	 SGS 香港	 SGS タイランド	 SGS 台湾	 SGS ベトナム
原産国	中国および第三国	タイ王国	台湾	ベトナム

食品食品接触材／製品の課題とは？

- ✓ 食品接触材料／製品内には、消費者の健康・安全に影響を与える可能性のある成分が含まれている場合、食品への影響を与えてはなりません。
 - 食品組成に予期せぬ影響を及ぼす
 - 食品の味や匂い等に悪影響を及ぼす
- ✓ 食品接触材については、各国それぞれ異なる規制を持っており、上市に際しては、各国の制度に応じて適合性確認を行う必要があります。

国	 日本	 米国	 EU	 中国
制度	食品衛生法など	食品・医薬品および化粧品法、21 CFR Part 170-199 など	枠組み規則(EC) no 1935/2004、プラスチック規則 (EC) no 10/2011 など	食品安全法、通用標準、製品標準、試験標準など

お問合せ先

各サービスのお問合せは、以下の URL または QR コードからお願いします。

サービス名	詳細／お問合せ
認証審査サービス 二者監査サービス 食品の試験分析サービス 試験・分析サービス	https://sgsjapan-portal.jp/field_detail.php?id=2 
トレーニングサービス	https://sgsjapan-portal.jp/info_detail.php?id=68 

When you need to be sure

SGS Japan Inc.

Yokohama Business Park,
134, Godo-cho, Hodogaya-ku,
Yokohama, Kanagawa

sgs.com

